

第 56 回 CDM 理事会傍聴出席報告（速報版）

2010 年 9 月 22 日

社団法人海外環境協力センター

I. 理事会概要

1. 日時： 2010 年 9 月 13 日（月）～9 月 17 日（金）
（公開討議は 9 月 15 日～17 日に開催）
2. 場所： FINATEC（ブラジル・ブラジリア）
3. 議題：
 1. 理事会メンバーについて
 2. 議題の採択
 3. ワークプラン
 - a) 運営組織の信任手続
 - b) ベースライン・モニタリング計画の方法論
 - c) 植林・再植林 CDM プロジェクトに関する事項
 - d) 小規模 CDM プロジェクトに関する事項
 - e) プログラム活動に関する事項
 - f) CDM プロジェクト活動の登録に関する事項
 - g) CER 発行及び CDM 登録簿（レジストリ）に関する事項
 4. CDM 管理計画及び予算に関する事項
 5. その他 ((a) CMP ガイダンス、(b) プロジェクトの地域偏在に関する事項、(c) DNA との関係、(d) DOE/AE との関係、(e) 利害関係者・各国・NGO との関係、(f) その他)
 6. 閉会



【理事会メンバー】

- ・ アフリカ枠から選出の Kamel Djemouai 理事（アルジェリア）が 2010 年 8 月 3 日付けで辞任し、Tahar Hadj-Sadok 氏¹（アルジェリア）が後任の理事に選出。

【運営組織の信任手続】

<運営組織（OE）認定>

- ・ 新規 OE 認定（有効化審査及び検証・認証）（2 機関）²：
 - CEPREI certification body (CEPREI)（中国）（E-0047）（認定スコープ番号：1、2、3、4、5、8、9、10、13、15）
 - LGAI Technological Center, S.A. (LGA)（スペイン）（E-0032）（認定スコープ番号：1、13）
- ・ TÜV Rheinland Japan Ltd. (TÜV Rheinland)（E-0013）は、CDM 認定パネル（AP）によるパフォーマンス評価の結果、定期実地調査（on-site surveillance）での是正措置の確認が行われることとなった。

¹ 元 UNFCCC 事務局次長（～2003 年 6 月）

² 2010 年 9 月 17 日より 3 年間の OE が認定。

<ガイダンス事項>

- ・「CDM 運営組織認定基準 (“CDM accreditation standard for operational entities”）」改訂版 (ver.2) を承認。
- ・「CDM 理事会による運営組織認定手続 (“Procedure for accrediting operational entities by the CDM Executive Board”）」改訂版 (ver.10.0) を承認。
- ・DOE のパフォーマンスモニターに関する政策枠組に関する事務局報告³を検討。EB58 (2010年11月)にて、次回 DOE のパフォーマンスに関する報告を事務局に要請。
- ・「CER 超過発行の DOE の法的責任に関する手続 (“Procedure on the matter of liability of the DOEs for excess issuance of the CERs”）」案を検討。パブリックコメントの受付を決定 (受付期間: 2010年9月17日~10月8日)。
- ・重要性 (materiality) 概念及び確実性のレベルの導入可能性を検討。パブリックコメントの受付を決定 (受付期間: 2010年9月17日~10月15日)。
- ・2010年12月15日~17日に開催を予定していた AP52 の2011年度初頭への開催延期を決定。

【ベースライン・モニタリング計画の方法論】

<新規方法論>

- ・承認 (2件):
 - **AM0089: “Production of diesel using a mixed feedstock of gasoil and vegetable oil”⁴** (スコープ: 1 (エネルギー産業)、5 (化学産業)) <ガス油と植物油の混合原料を用いたディーゼル生産>
(尚、ディーゼル消費者がプロジェクトバウンダリの外に出た際の取り扱いについて、MPでの検討を要請。EB58にて再検討。)
 - **AM0090: “Modal shift in transportation of cargo from road transportation to water or rail transportation”⁵** (スコープ: 7 (運輸)) <貨物の道路輸送から海上・鉄道利用へのモーダルシフト>
(尚、アイドル時の鉄道・船舶の利用可能容量、鉄道から船舶の移行について、MPでの検討を要請。)
- ・不承認 (1件): NM0310

<承認済み方法論の修正>

- ・修正承認⁶ (4件):
 - ACM0002 (ver.12.0.0)、ACM0006 (ver.11.0.0)、ACM0013 (ver.4.0.0)、ACM0017 (ver.2.0.0)

<ガイダンス事項>

- ・「主要製品と副産物に対する生産工程からの排出量割当に関するガイドライン」 (“Guidelines on apportioning emissions from production processes between main product and co- and by-products”) 改訂版 (ver.2) を承認。

³ 2010年1月1日~6月30日までの DOE からのプロジェクト登録・CER 発行要請に関する算定指標等が事務局より報告された。

⁴ NM0312 “Production of diesel using a mixed feedstock of gasoil and vegetable oil at the inlet of Hydrotreatment Units” (Alberto Pasqualini REFAP S.A.作成) と ACM0017 “Production of biodiesel for use as fuel”の統合化

⁵ NM0320 “Modal shift transportation from road modal to a less intensive GHG emission” (ArcelorMittal Tubarão 作成)

⁶ 修正内容は2010年9月17日より発効。

- ・ベースラインシナリオ追加性証明及び認定に関する統合化ツール (“Combined tool to demonstrate additionality and identify the baseline scenario”) 案を検討、引き続き MP にて検討を行うよう要請。
- ・AM0034 「硝酸工場のアンモニア燃焼設備内での触媒利用により N2O 削減」での「異常活動 (abnormal campaign)」に関する定義 (下記) を承認。
 - ✓ 活動予定時間の 90% の中で、アンモニア変換効率が 90% に達しない状態
 - ✓ 触媒交換の結果、初期の触媒に物理的ダメージが見られた場合
- ・「クレジット期間更新における最初/現在のベースライン更新の妥当性評価ツール (“Tool to assess the validity of the original/current baseline and to update the baseline at the renewal of a crediting period”）」案を検討。機器寿命を考慮した上で、事務局に再度ツール案の作成を要請。EB58 (2010 年 11 月) にて検討を行うこととなった。
- ・「電力システムの排出係数算定ツール (“Tool to calculate the emission factor for an electricity system”）」を検討。EB59 (2011 年初頭) にて再度検討を行うこととなった。
- ・MP メンバーの Lambert Schneider 氏が辞任し、後任として Alex Dunn 氏が任命された。
- ・次回 MP46 (2010 年 10 月 25 日～29 日) とは別に、AM0001 (HFC23) に関する臨時 MP 開催が決定された。(日程は後日公表)

【植林・再植林 CDM プロジェクトに関する事項】

<新規 AR 方法論>

- ・承認 (1 件) :
 - **AR-AMS0007 : “Simplified baseline and monitoring methodology for small-scale A/R CDM project activities on grasslands or croplands”** (スコープ : 14 (植林及び再植林)) <草原・耕作地における小規模 AR 簡素化方法論>

<承認済み AR 方法論の修正>

- ・修正承認⁷ (2 件) :
 - AR-AMS0001 (ver.6)、AR-ACM0001 (ver.5.0.0)

<ガイダンス事項>

- ・「AR CDM プロジェクト活動における樹木・灌木の炭素蓄積量変化の算定ツール (tool “Estimation of carbon stocks and change in carbon stocks of trees and shrubs in A/R CDM project activities”）」改訂版 (ver.2.0.0) を承認。
- ・「AR CDM 用 PDD 様式、新規方法論提案様式記入ガイドライン (“Guidelines for completing the CDM A/R forms for: the project design document (CDM-AR-PDD) and the proposed new baseline and monitoring methodology (CDM-AR-NM)”）」改訂版 (ver10) を承認。

【小規模 CDM プロジェクトに関する事項】

<新規 SSC 方法論>

- ・承認 (2 件) :
 - **AMS-III.AM. : “Fuel switch in a cogeneration/trigeneration system”** (スコープ : 3 (エネルギー需要)) <コジェネ (熱電併給)・トリジェネレーション (熱電排ガス併給) システムからの燃料転換>
 - **AMS-III.AN. : “Fossil fuel switch in existing manufacturing industries”** (スコープ : 4 (製造業)) <既存製造業での化石燃料からの転換>

⁷ 修正内容は 2010 年 9 月 17 日より発効。

<承認済み SSC 方法論の修正>

- ・修正承認⁸ (3 件) :
 - AMS-I.E (ver.3)、AMS-I.C (ver.18)、AMS-III.X (ver.2)

<ガイダンス事項>

- ・LED 電球機器への交換 (トップダウン型) 方法論案について、SSC WG29 (2011 年初頭) 前にパブリックコメントの受付を行い、コメントを踏まえて検討を行うこととなった。
- ・(事前の統合化手続を経ない) 複数の小規模方法論の PoA への適用について、タイプ III のメタン発生 (例: AMS-III.H、AMS-III.D、AMS-III.F、AMS-III.G) とタイプ I のメタン利用の再生可能発電 (例: AMS-I.A、AMS-I.C、AMS-I.D、AMS-I.F) の方法論の組み合わせは事前の統合化手続を必要とせず、PoA に適用可能であると決定。また、上記の組み合わせ以外について、理事会は SSC WG に引き続き小規模方法論の組み合わせの検討を行うよう要請。

【プログラム活動に関する事項】⁹

- ・「登録済 PoA の CPA の適格基準決定ガイドライン (“Guidelines for determining the eligibility criteria related to the inclusion of CPAs in registered programme of activities”)」案を検討。検討内容を踏まえ、再度案の作成を事務局に要請。

【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】¹⁰ (プロジェクトの詳細は別添をご参照ください)

- ・登録承認: 4 件 (日本事業者参加案件なし)
- ・修正条件付登録承認: 37 件 (日本事業者参加案件 3 件)
- ・レビュー実施決定: 27 件 (日本事業者参加案件 4 件)
- ・登録不承認: 1 件 (日本事業者案件なし)

<ガイダンス事項>

- ・登録・発行チーム (RIT) の任期の 1 年延長を決定 (~2011 年 9 月 30 日)。

【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】¹¹ (プロジェクトの詳細は別添をご参照ください)

- ・修正条件付発行承認: 12 件 (日本事業者参加案件 2 件)
- ・レビュー実施決定: 9 件 (日本事業者参加案件 3 件)
- ・発行不承認: なし
- ・登録済み PDD 修正に伴う CER 発行要請変更承認: 1 件 (日本事業者参加案件なし)
- ・以前、発行不承認判定を受けた案件への再申請提出許可: 1 件 (日本事業者参加案件なし)

<ガイダンス事項>

- ・HFC-23 プロジェクトに関する問題について、EB58 (2010 年 11 月) にて決定を行うこととなった。また、理事会は HFC-23 プロジェクト参加者でレビュー実施対象となっていない事業者に対して、レビュー内容の DOE を通じた自発的な回答を奨励した。

⁸ 修正内容は 2010 年 9 月 17 日より発効。

⁹ 2010 年 9 月 17 日現在、5 件の PoA が登録済。

¹⁰ 2010 年 9 月 17 日現在、2,379 件のプロジェクトが登録済。

¹¹ 2010 年 9 月 17 日現在、432,673,803 の CER が発行済。

【その他】

- ・プロジェクト登録や CER 発行に関する理事会決定に対するアピール手続案に関して、事務局案を歓迎し、主な手続構成については合意。次回 EB57（2010 年 10 月）での検討を踏まえ、CMP6 への勧告案を決定することとなった。
- ・「プロジェクト登録件数 10 件未満のホスト国を対象とした、CDM プロジェクト開発支援のためのローンスキームの運用に関するガイドライン・手続（“Guideline and modalities for operationalization of a loan scheme to support the development of CDM project activities in countries with fewer than ten registered project activities”）」を承認し、CMP6 への勧告として採択。（CMP6 への EB 年次報告書の附属書に盛り込まれる。）
- ・コベネフィット CDM の提案に関して、理事会はコベネの取り扱い可能性について、関連文書改訂の必要性の検討を事務局に要請し、次回以降、検討を行うこととなった。
- ・次回第 57 回 CDM 理事会（EB57）は、2010 年 10 月 12 日～14 日（公開討議日程は後日公表）、ドイツ・ボンにて開催予定。

4. 出席者

網掛部は EB56 欠席メンバー (3名)

出身地域枠	理事 (Member) 【10名】	代理理事 (Alternate Member) 【10名】
国連地域グループ (5地域)	アフリカ Mr. Tahar Hadj-Sadok ¹² (アルジェリア/元 UNFCCC 事務局次長)	Mr. Samuel Adeoye Adejuwon (ナイジェリア/環境省 環境評価局気候変動ユニット部長補佐)
	アジア Mr. Shafqat Kakakhel (パキスタン/持続可能な発展政策研究所(SDPI) チーフアドバイザー)	Mr. Rajesh Kumar Sethi (インド/環境森林省 気候変動部部長、インド DNA 事務局)
	東欧 Ms. Diana Harutyunyan (アルメニア/自然保護省自治体暖房・温水供給局、アルメニア DNA 事務局)	Ms. Danijela Bozanic (セルビア/環境・国土計画省気候変動ユニット長、セルビア DNA 事務局)
	ラテンアメリカ・カリブ海 Mr. Hugh Sealy (グレナダ/持続可能な開発委員会 議長)	Mr. José Domingos Gonzalez Miguez (ブラジル/科学技術省 省庁間気候変動委員会 事務局長)
	西欧その他 Mr. Martin Hession (イギリス/エネルギー・気候変動省 国際気候変動・オゾンカーボン市場担当)	Mr. Thomas Bernheim (欧州共同体 (EC) /環境総局)
附属書 I 国 (Annex I)	Mr. Pedro Martins Barata (ポルトガル/環境・都市計画・地域開発省 気候変動委員会 上級アドバイザー)	Mr. Lex de Jonge (オランダ/住宅・国土計画・環境省 CDM ユニット長)
	Mr. Peer Stiansen (ノルウェー/環境省 気候変動上級アドバイザー)	Mr. Akihiro Kuroki (黒木 昭弘 氏) (日本/(財)日本エネルギー経済研究所 理事 地球環境ユニット担当)
非附属書 I 国 (Non-Annex I)	Mr. Philip M. Gwage (ウガンダ/前 水・土地・環境省 気象局)	Mr. Paulo Manso (コスタリカ/環境・エネルギー省、コスタリカ DNA 事務局)
	Mr. Duan Maosheng (中国/清華大学エネルギー経済研究所)	Ms. June Hughes (セントキッツ&ネイビス/保健・環境省)
小島嶼国連合 (AOSIS)	Mr. Clifford Mahlun (ジャマイカ/地方政府・環境省 気象庁)	Mr. Asterio Takesy (ミクロネシア/政府上級顧問 (前 南太平洋地域環境計画(SPREP)所長))

オブザーバー参加者 : 9名

(文責 : 家本 了誌)

¹² 2010年8月3日付けで Kamel Djemouai 氏 (アルジェリア) が理事を辞任し、Tahar Hadj-Sadok 氏 (アルジェリア) が後任の理事に選出。

別添：【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

<登録申請・レビュー要請案件（4桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当DOE]>

- ・登録承認：4件（日本事業者参加案件なし）
 - “Gansu Yumen Diwopu Phase II Wind Power Project”（3167）（中国/ノルウェー）[DNV]
 - “Huaneng Changyi Phase I Wind Farm Project”（3353）（中国/英国）[BVCH]
 - “Egyptian Brick Factory GHG Reduction Project”（0834）（エジプト/カナダ・オランダ）[DNV]
 - “Reforestation as Renewable Source of Wood Supplies for Industrial Use in Brazil”（2569）（ブラジル/オランダ）[TÜV-SÜD]
- ・修正条件付登録承認：37件（日本事業者参加案件3件）
 - “Hanpingzui Hydropower Project in Gansu Province”（1698）（中国/オランダ）[DNV]
 - “Wind power project by AL – Wind Energy in Tamilnadu”（2947）（インド）[SGS]
 - “N2O reduction project at the WNA III nitric acid plant of Deepak Fertilizers & Petrochemicals Corporation Ltd. (“Deepak”), India”（2997）¹³（インド/英国・日本[三井物産]）[TÜV-SÜD]
 - “Yunnan Province Yingjian County Nanpian River Hydropower Station”（3014）（中国/英国）[TÜV-Nord]
 - “Yangquan Nanmei (Group) Co., Ltd. Coalmine Methane Utilization Project”（3016）（中国/フランス・英国）[DNV]
 - “Hubei Baokang Siping Hydropower Station”（3052）（中国/ドイツ）[TÜV-Nord]
 - “Yinqiao and Luojiaba 11.5 MW Bundled Hydropower Project in Guizhou Province”（3081）（中国/オランダ）[TÜV-Rhein]
 - “Green to Energy Wastewater Treatment Project in Thailand”（3085）¹⁴（タイ/日本[農業技術マーケティング・NES Japan]）[DNV]
 - “Yunnan Yizi 19.2 MW Hydropower Project”（3094）（中国/フランス）[TÜV-SÜD]
 - “Yunnan Dali Dafengba 48 MW Wind Power Project”（3128）（中国/オランダ）[TÜV-Rhein]
 - “24 MW Waste Heat Recovery for Power Generation Project at Ningxia Saima Industry Co., Ltd.”（3135）（中国/英国）[DNV]
 - “Roaring 40’s Wind Farms (Khandke) Private Limited”（3142）（インド）[DNV]
 - “Hubei Wangjiahe Hydropower Project”（3168）（中国/オランダ）[TÜV-SÜD]
 - “Renewable biomass based thermal energy generation in Mangal Textile Mills (I) Pvt. Ltd.”（3181）（インド）[SGS]
 - “Bio-mass (Rice Husk) based Cogeneration project at M/s Rayana Paper Board Industries Ltd. (RPBIL), Vill: Dhaurahra, Post: Digha, Distt: Sant Kabir Nagar- 272 175, Uttar Pradesh”（3184）（インド）[DNV]
 - “Shanxi Gaoping biomass combined stoves and heater (BCSH) Project 1”（3185）（中国/英国）[SGS]
 - “Anhui Huaibei Qinan Coal Mine Methane Utilization Project”（3186）¹⁵（中国/日本[日揮]）[DNV]

¹³ 2997「インド Deepak 社 WNA III 硝酸工場における N2O 削減プロジェクト」（日本政府承認 2008 年 10 月 15 日（担当官庁：経済産業省））

¹⁴ 3085「タイ国におけるグリーン・ツー・エナジー社による廃水利用プロジェクト」（日本政府承認 2008 年 2 月 12 日（農業技術マーケティング）、2009 年 5 月 26 日（NES Japan）（担当官庁：経済産業省））

¹⁵ 3186「安徽省 淮北 祁南炭鉱メタン利用プロジェクト」（日本政府承認 2009 年 1 月 23 日（担当官

- “Shaqu 14 MW CMM Power Generation Product in Shanxi Province (Phase I)” (3190) (中国) [TÜV-SÜD]
 - “Qinxin CMM Power Generation Project” (3200) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
 - “Funing County Baida Hydropower Station” (3211) (中国/スイス) [TÜV-Nord]
 - “Gul Ahmed Combined Cycle Gas Turbine Project” (3213) (パキスタン/英国) [BVCH]
 - “Hubei Province Zigui County Guanyintang Hydropower Station” (3250) (中国/英国) [CQC]
 - “Gansu Guazhou Xiangyang Phase II Wind Power Project” (3253) (中国/ノルウェー) [DNV]
 - “Yangquan Yinying Coal Mine Methane (CMM) Power Generation Project of Yangquan City, Shanxi Province, P.R. China” (3266) (中国/英国) [DNV]
 - “Zhenkang Fengweihe Hydropower Project in Yunnan Province” (3293) (中国/スウェーデン) [TÜV-Rhein]
 - “Methan Reduction at the Taibe’s Landfill using In-situ Aeration” (3313) (イスラエル) [DNV]
 - “Wanzhou Kehua Cement WHR to 13.5 MW Electricity Project in Wanzhou District” (3340) (中国/スイス) [TÜV-SÜD]
 - “Jilin Xiangyang 1st phase Wind Power Project” (3346) (中国/スウェーデン) [SGS]
 - “Guizhou Qingshuihe Gelibridge Hydropower Project” (3351) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
 - “Project of Wastewater Treatment in Anning of Guangxi” (3369) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
 - “Yunnan Maguan Tongguo Hydropower Station” (3377) (中国/ドイツ) [TÜV-SÜD]
 - “Landfill Gas Recovery and Flaring Project in the El Verde Landfill, Leon” (3378) (メキシコ) [SGS]
 - “Tian Siang Co-Composting Project” (3379) (マレーシア/英国) [TÜV-SÜD]
 - “Bundled fossil fuel switching to NG (natural gas) project in Gyeonggi-do, Republic of Korea” (3384) (韓国) [KEMCO]
 - “CECIC HKE Zhangbei Lvnaobao Wind Power Project” (3399) (中国/スウェーデン・スペイン) [TÜV-SÜD]
 - “Inner Mongolia Chifeng Gaodeng Wind Power Project” (3439) (中国/フランス) [DNV]
 - “340 MW Gas based combined cycle power project expansion at Hazira” (2915) (インド) [BVC]
- ・レビュー実施決定：27件（日本事業者参加案件4件）
- “Hangzhou Huadian Banshan Power Generation Co., Ltd.’ Natural Gas Power Generation Project” (2705) (中国/英国) [DNV]
 - “Yunnan Kegonghe 10MW Hydropower Project” (3015)¹⁶ (中国/日本[三菱商事]) [TECO]
 - “Kamojang Geothermal” (3028) (インドネシア/英国) [TÜV-SÜD]
 - “Tunlan Coal Mine Methane Utilization Project, Shanxi Province, People’s Republic of China” (3067) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
 - “Yunnan Youfanggou Hydropower Project” (3082) (中国/英国) [KFQ]
 - “Xinjing Dabancheng Sanchang Phase IV Wind Power Project” (3107) (中国/スイス) [DNV]
 - “Jilin Loungyuan Changling Shuanglong Phase I Wind Power Project” (3122) (中国/スイス) [DNV]
 - “Ningxia Rujigou Coal Mine Methane Power Generation Project” (3130) (中国/ドイツ) [TÜV-SÜD]
 - “Inner Mongolia Saiwusu I Wind Power Project” (3134) (中国/ノルウェー) [DNV]

庁：経済産業省))

¹⁶ 3015「雲南 Kegonghe10MW 水力発電プロジェクト」(日本政府承認2009年2月10日(担当官庁：経済産業省))

- “Tiantie Metallurgy Group CDQ Project” (3162) (中国/英国) [LRQA]
- “Malan Coal Mine Methane Utilisation Project” (3180) (中国/英国) [LRQA]
- “Xinjiang Midong Tianshan Cement Co.Ltd’s 1600td Utilization Calcium Carbide for Cement Clinker Project” (3183) (中国/英国) [DNV]
- “Thermal energy generation from renewable biomass by Amir Chand Jagdish Kumar Exports Ltd.” (3188) (インド) [DNV]
- “6 MW Biomass Based Power Project in Assam by BEPL” (3189) (インド) [SGS]
- “Biogas recovery and Thermal Power production at CITRUSVIL Citric Plant in Tucuman, Argentina” (3192) (アルゼンチン/オランダ) [SGS]
- “Wayang Windu Phase 2 Geothermal Power Project” (3193) (インドネシア/英国) [TÜV-SÜD]
- “Funing County Gula Township Nalin Hydropower Station” (3212) (中国/スイス) [TÜV-Nord]
- “SDIC Xiyang Baiyangling CMM to power generation project” (3219) (中国/英国) [DNV]
- “Energy efficient power genration in Tirora, India” (3225) (インド) [SGS]
- “Suzhou Landfill in Anhui Province Gas Utilization Project” (3260) (中国/英国) [LRQA]
- “Guangxi Longsheng Lejiang Hydropower Project” (3269) (中国/スウェーデン) [LRQA]
- “Yunnan Wenshan Yanlashan Hydropower Project” (3280) (中国/スイス) [KFQ]
- “Ningxia Wulan Coal Mine Methane Power Generation Project” (3289) (中国/ドイツ) [TÜV-SÜD]
- “Hebei Kangbao Sanxiatian Wind Farm Project” (3312) (中国) [BVCH]
- “Trang Palm Oil Wastewater Treatment Project in Trang Province, Thailand” (3335)¹⁷ (タイ/日本 [三菱 UFJ 証券]) [JQA]
- “Sichuan Jinyanxi 8 MW Hydropower Project” (3393)¹⁸ (中国/日本[三菱商事]) [TÜV-SÜD]
- “HFC Decomposition Project in Ulsan” (0003)¹⁹ (韓国/スイス・日本[イネオスケミカル]) [DNV]

・登録不承認：1 件（日本事業者参加案件なし）

- “Energy Efficiency Measures at Cement Production Plant” (1068) (インド) [SGS]

¹⁷ 3335 「タイ国トラン県における Trang Palm Oil 社 廃水処理プロジェクト」（日本政府承認 2009 年 7 月 21 日（担当官庁：経済産業省））

¹⁸ 3393 「四川省金岩溪 8MW 水力発電プロジェクト」（日本政府承認 2008 年 9 月 4 日（担当官庁：経済産業省））

¹⁹ 0003 「韓国ウルサン市における HFC 類の破壊事業」（日本政府承認 2006 年 12 月 6 日（担当官庁：経済産業省））

別添：【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

<CER 発行要請・レビュー要請案件（4 桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当 DOE]>

- ・修正条件付発行承認：12 件（日本事業者参加案件 2 件）
 - “Ajapapur Sugar Complex Cogeneration Project” (0332)（インド/オーストラリア・英国）[TÜV-SÜD]
 - “14.65 MW Wind Power Project in Maharashtra by BF Utilities Ltd.” (0792)（インド/スイス・英国）[DNV]
 - “Installation of Plate Type Heat Exchanger for preheating combustion air of primary reformer and reducing heat loss to atmosphere through flue gases at Indo Gulf Fertilizers (A Unit of Aditya Birla Group), Jagdishpur” (0850)（インド/スイス）[DNV]
 - “AWMS Methane Recovery Project MX06-S-53, Sonora, Mexico” (0880)（メキシコ/スイス・英国）[DNV]
 - “Burning of Solid biomass for process steam generation for beer manufacture in place of the BPF 3 fuel oil at the Aguas Calaras do Sul Branch” (1202)（ブラジル）[DNV]
 - “Palmas del Espino – Biogas recovery and heat generation from Palm Oil Mill Effluent (POME) ponds, Peru” (1249)（ペルー/ベルギー）[TÜV-SÜD]
 - “Guohua Inner Mongolia Huitengliang Wind Farm Project” (1261)（中国/英国）[BVCH]
 - “Petrotemex Energy Integration Project” (1453)（メキシコ/スイス）[TÜV-SÜD]
 - “Fujian Beijin Hydropower Project” (1478)²⁰（中国/日本[丸紅]）[JACO]
 - “Ma Steel (old plant) CDQ and waste heat utilization project” (1729)（中国/英国）[ERM CVS]
 - “Duerping Coal Mine Methane Utilization Project” (1900)（中国/英国）[SGS]
 - “Yunnan Leidatan 108 MW Hydropower Project” (2151)²¹（中国/日本[三菱商事]）[BVCH]
- ・レビュー実施決定：9 件（日本事業者参加案件 3 件）
 - “Hapugastenne and Hulu Ganga Small Hydropwer Projects” (0085)（スリランカ/オランダ）[DNV]
 - “Quimobasicos HFC Recovery and Depomposition Project” (0151)²²（メキシコ/スイス・オランダ・英国・日本[電源開発]）[TÜV-SÜD]
 - “HFC23 Decomposition Project of Zhejiang Juhua Co., Ltd, P.R. China” (0193)²³（中国/日本[JMD 温暖化ガス削減、日揮、丸紅、大旺建設]）[SGS]
 - “AWMS GHG Mitigation Project BR05-B-13, Goias and Minas Gerais, Brazil” (0419)（ブラジル/スイス・英国）[DNV]
 - “Optimal utilization of clinker: Substitution of Clinker by Slag in Portland Slag Cement at OCL, Rajgangpur, Sundargarh, Orissa” (0579)（インド）[SGS]

²⁰ 1478「福建省北津 50MW 小型水力発電プロジェクト」（日本政府承認 2007 年 5 月 11 日（担当官庁：経済産業省））

²¹ 2151「雲南省打灘 108MW 水力発電プロジェクト」（日本政府承認 2008 年 2 月 19 日（担当官庁：経済産業省））

²² 0151「Quimobasicos HFC 回復および分解プロジェクト」（日本政府承認 2006 年 11 月 22 日（担当官庁：経済産業省））

²³ 0193「中国浙江巨化公司 HFC23 分解 CDM プロジェクト」（日本政府承認 2005 年 11 月 11 日（担当官庁：経済産業省））

- “GHG emission reduction by thermal oxidation of HFC 23 at Navin Fluorine Intrnational Limited (NFIL), Surat, Gujarat, India” (0838)²⁴ (インド/スイス・フランス・英国・日本[住友商事]) [SGS]
 - “Yidaoqiao Hydropower Project in Tiechang River, Jiulong County, Sichuan Province” (2162) (中国) [BVCH]
 - “Upgradation, Operation and Maintenance of 200 TPD Composting facility at Okhla, Delhi” (2470) (インド/ドイツ) [DNV]
 - “Upgradation and expansion of A.P.M.C. compost plant at Tikri, Delhi” (2502) (インド/) [DNV]
- ・発行不承認：なし
- ・登録済み PDD 修正に伴う CER 発行要請変更承認：1 件（日本事業者参加案件なし）
- “Beijing No.3 Thermal Power Plant Gas-Steam Combined Cycle Project Using Natural Gas” (1373) (中国/ドイツ) [TÜV-Nord]
- ・以前、発行不承認判定を受けた案件への再申請提出許可：1 件（日本事業者参加案件なし）
- “Ningguo Cement Plant 9,100 KW Waste Heat Recovery and Utilization for Power Generation Project of Anhui Conch Cement Co. Ltd” (0898) (中国/スイス、英国) [DNV]（モニタリング期間：2008 年 3 月 1 日～2009 年 3 月 31 日）²⁵

²⁴ 0838 「インド国グジャラット州スラット市、ナヴィン・フッ素化学会社における HFC23 ガス熱破壊による GHG 削減事業」（日本政府承認 2007 年 5 月 10 日（担当官庁：経済産業省））

²⁵ 前回 EB55（2010 年 7 月）にて発行不承認と判定されていた案件。